美里吾平（うましさと）コミュニティ協議会（鹿屋市）

地域の魅力を活かして広がる「つながりの輪」

高齢化率
37.99%
6,060人
地域の人口
令和５年１月１日時点

吾平山陵公園の桜

地区概要

鹿屋市の南部に位置し、神武天皇の父母が眠る「吾平山上陵」がある由緒ある、歴史を有する地域で、10町内会から構成される。農業従事者が多く、鹿屋市中心部に通勤する人も多い。

コミプラ設立の経緯

旧吾平町が鹿屋市と合併し、将来的には旧役場である吾平総合支所が縮小され地域が衰退することが懸念されていたこと、また鹿屋市から「地域コミュニティ協議会モデル地区」に指定されたことをきっかけに、地域での話し合い活動を行い、平成24年に「吾平地域活性化推進計画」を策定、平成26年に美里（うましさと）吾平コミュニティ協議会を設立した。

協議会では、関係団体の代表による地域づくり部会とくらし部会の２つの専門部会を設けており、それぞれの部会で活動を実施している。また、地域づくりに意欲的なメンバーによる４つのプロジェクトチームがあり、部会を超えた横断的な活動を行っている。

特徴的な活動

①吾平山上陵にまつわる神話「吾平物語」で地域おこし

令和３年度に作成した、吾平山上陵にまつわる神話をまとめた「吾平物語」を地域活性化の基盤として活動を行っている。

まずは地元に「吾平物語」を広めるための講話を地元の中学校の「地域とつながる授業」の中で行い、受講した子どもたちは吾平山上陵にまつわる神話や歴史に触れて、地元の魅力を再認識することができた。

また、たくさんの経験をしてきた高齢者に自身の地元について再度学び直す機会を提供する「高齢者大学」でも講話を行い、高齢者への生きがいづくりにも繋がっている。地元の魅力を再度発見し、共通理解を深めることで、住民によるまちづくり活動への意欲的な参加や、地域外の人を吾平へ呼び込む取り組みを進めている。

吾平神楽　吾平物語

②誰かと繋がるための場所　コミスポ吾平

「行けば明かりがついていて誰かがいる場所」が吾平にはある。「美里吾平コミュニティふれあい交流スポット」通称「コミスポ吾平」だ。施設内には、毎週火・木曜日に地域の絆を深め関係を広げるための「茶のん家」を開設、「100円カフェ」「おもちゃ病院」「そば打ち体験会」「バザー」などのイベントを開催している。年齢を問わず誰もが楽しみながら他者と交流をすることができる。

また、吾平での生活を体験できる移住体験住宅「吾楽暮（あいらいく）」が隣接しており、１泊２日で4000円、以後2000円の加算で利用が可能。コミスポ吾平の隣にあるため、地元の人々も声をかけやすく、来訪者もその輪に入りやすい雰囲気づくりがなされている。

茶のん家の利用者同士のつながりが強まると同時に吾平を訪れた地域外の人々もそれに加わることで、活性化の促進と吾平を通じたつながりが吾平の外にも広がっていくことが期待されている。

コミスポあいらの雛人形

今後の展望（コミプラの声）

今後、地域の子どもたちを巻き込んで地域づくり活動を行いたいと考えている。子どもたちにはふるさと吾平に誇りと愛着を持ってもらい、将来の吾平への定住や地域のリーダーとして活躍してもらうことを願っている。

地域活性化について子どもと大人が一緒に考えていき、地域全体で吾平を盛り上げていきたい。具体的には、取組みなど一緒に考えていき、当日のスタッフとしても活躍してもらい、活性化の一躍を担っていることを実感してもらいたい。また、吾平にまつわる神話を地域づくりに生かしていこうと作成した「吾平物語」を中心にムード作りをしていきたいと考えている。

鹿屋市から一言

美里吾平コミュニティ協議会が活性化の基盤とするため令和３年度に「吾平物語」を作成しました。これは地域外への吾平の情報発信やPRが主な目的でしたが、それ以前に地域住民が自分たちの住む町のことを知り、その魅力や素晴らしさの再認識につながったのはとても素晴らしいことだと思います。

また、少子高齢化と人口減少が進んでいくなか、今後の展望として挙げている子どもたちとの地域づくりへの取組みは、将来の地域リーダーの育成や持続的地域活性化につながるものと期待し、行政も一緒になって盛り上げていきたいと思います。

利用した補助金など

・過疎地域等自立活性化推進交付金　（総務省）（H26年度）

美里吾平
コミュニティ協議会
Facebook

美里吾平
コミュニティ協議会
（ぐるっと大隅）

Passion

地域の歴史も地域資源として活用すべし！

community platform report